

令和6年度（2024年度） 大分大学一般選抜試験問題

出題の意図

小論文

（経済学部）

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

経済学部アドミッション・ポリシーの「小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します」という主旨に則り、男女間賃金格差を題材とした。

設問の前半では、4つの資料から情報を読み取り要約してまとめることを求めた。理解力、論理的思考力、表現力の判定を意図している。設問の後半は日本の男女間賃金格差についての関心や理解、保有している知識や情報を活用した論述を求めた。

資料とこれまでの学習の成果や経験なども踏まえながら、男女間賃金格差の背景にあると考えられる事柄について考え述べることにより、社会課題への関心、論理的思考、表現力を判定する。